

令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果における課題・意見への対応状況について

関連計画	令和2年度に係る業務の実績に関する評価結果における課題・意見	対応状況
1	社会福祉士の合格率が前年度より大幅に低下しており、目標達成に向け、問題意識を持って取り組んでほしい。	社会福祉士国家試験のすべての科目について、教員による対策講座を実施し、合格率向上に取り組んでいる。令和3年度は合格率76.3%となり、目標(80%)には届かなかったが、令和2年度の67.5%から改善した。
9	アクティブ・ラーニングを含む教育方法の改善について、今後、オンラインと対面をうまく両立してほしい。	コロナ禍への対応と、授業の性質を考慮しつつ、オンラインと対面、その双方を使ったハイブリッドも導入しながら、授業形態に応じたアクティブ・ラーニングの利活用について意見交換会を開く等、教育効果の向上に努めている。
40	リカレント教育について、オンラインの活用を検討してほしい。	「吉備の杜」創造戦略プロジェクトの授業を、同プロジェクトの協働機関の職員等が本学学生と共に履修できる科目として周知・募集を行い、社会人が休日に受講できるよう全ての講義をオンデマンド(動画視聴)で開講している。令和3年度は県内16の企業・団体から48名(延71名)の履修があった。
43	アフターコロナの教育方法は大事なので、よく研究してほしい。	コロナ禍の教育に関して現状の把握や対策に活かすため、オンライン授業に関するアンケート調査、コロナ禍における授業実施形態とその教育の質への影響に関する調査、授業1回当たりの平均時間外学習時間に関する調査を行い、その結果を公表した。今後も更なる調査や検証、課題の発見と改善策を検討し、教育の質の向上に努めることとしている。